

5－5．人宿町人情通り沿道エリア

1. 現況と課題

近接民間主体の建物リノベーションによるまちづくりと個性的な店舗の立地

民間が中心となり、エリア一帯の開発計画を推進し、多種多様な種類の店舗が立地しています。古い建物をリノベーションにより活用し、人が集まる場所づくりが進められています。



民間による魅力づくりと情報発信



リノベーションによる建物更新



個性的な店舗

新旧建物の混在

旧東海道沿いに新旧建物が入り混じる独特の雰囲気の街並みを形成しています。



古い建物と新しい建物が調和した街並み



道路空間の活用

「人宿町人情祭り」等の道路を活用したイベントを開催しています。



人宿町人情祭りの風景

七間町通り、青葉通りや常磐公園との近接
周辺のエリアにおいても地域主体のまちづくり活動が行われています。



周辺のエリアで行われているまちづくり活動

歩車の錯綜

通過交通が多く、限られた道路空間内で車両や歩行者、自転車が錯綜しています。



幅員 8 m の限られた道路空間

駐車場の点在

駐車場が点在し、店舗の連続性が分断されるとともに、道路空間を利用する際の支障となることがあります。



沿道の青空駐車場

2. エリアの強み・弱み／まちづくりの着眼点

エリアの現状から、これからのまちづくりを進めるにあたっての強みと弱み、このエリアのまちづくりの着眼点を整理します。

強み

- **民間主導の建物リノベーションによるまちづくり**
民間が主体となり、活発に建物のリノベーションを行い、柔軟で機動的なまちづくりを推進しています。
- **新旧の建物が調和したまちなみ**
旧東海道の雰囲気を残す建物が相互に調和し、個性的な街並みを形成しています。
- **多くの個性的な店舗の立地**
個性豊かな店舗が並び、人を呼び寄せる魅力を有しています。
- **七間町通り、青葉通りや常磐公園との近接**
七間町通り、青葉通りや常磐公園と近接し、地域主体のまちづくりによる連携が期待できます。

弱み

- **交通結節点*1から離れた立地**
静岡駅や新静岡駅といった交通結節点からは距離があり、公共交通では訪れにくい立地となっています。
- **駐車場の点在**
青空駐車場が点在し、店舗の連続性が分断されるとともに、道路空間の活用の際には支障となっています。
- **歩車等の錯綜**
幅員 8 m の限られた道路空間であるため、車と歩行者、自転車が錯綜しており、交通の安全性に課題があります。

まちづくりの着眼点

- 旧東海道沿いの雰囲気を残しながら**古い建物のリノベーションや建て替え**を進め、**個性的な店舗の集積**を図る**民間主体の先進的なまちづくりの流れ**を後押しし、相乗効果を発揮することが求められます。
- 人宿町人情通りの周辺は、**居住地（＝暮らしの場）としての機能も**考慮し、商業機能と両立させることが重要です。
- **隠れ家的立地**をエリアの特徴として活かす一方で、**周辺エリアとのつながりの強化や、歩きやすく、居心地の良い公共空間の整備**が必要です。

*1交通結節点

電車、バス、タクシーなど、異なる交通手段への乗り換えができる拠点(静岡駅、新静岡駅など)

3.空間特性・歩行者行動から見た特徴

- 幹線道路の裏手に位置する比較的落ち着いた性格の場の特性を活かして、隠れ家的エリアとして選ばれる強みを伸ばすことが有効であると考えられます。
- 店舗の集積が見られ、休日の歩行者通行量も周辺エリアの中では比較的多いことから、歩きやすさをさらに向上させる空間整備と滞留空間の確保がエリアの価値をより高めることに寄与すると考えられます。



「見つけやすさ・わかりやすさ」



「通り掛かりやすさ」

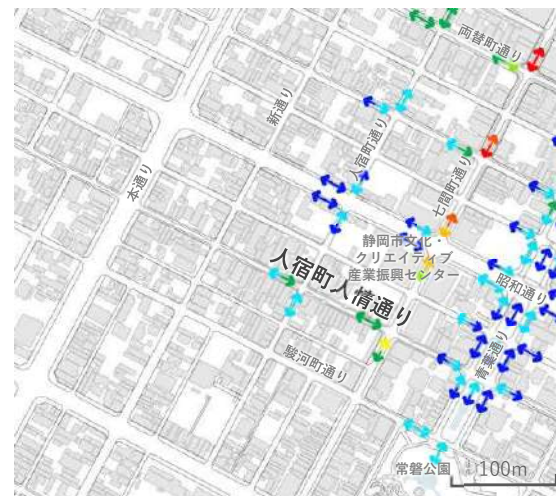


建物全体の「出入口」の分布

- 連続した店舗出入口の集積が人宿町人情通りと人宿町通りの交差点を中心に見られます。
- 七間町通りと青葉通りの間は住宅の出入口が一定程度分布し、店舗のつながりが途切れていることが分かります。

入口の向きと業態

- 店舗
- 住居
- 事務所
- その他



人通り（通行量）（休日）

- 途中経路としての通り掛かりやすさは、七間町通りなどの周辺の通りと比較してやや劣ります。

- 休日の歩行者通行量は、周辺より比較的多くなっています。

4. まちづくりの基本的考え方

第4章で示した「10の方策」における、このエリアで特に重要な位置づけを以下の視点から整理します。

- 駿府城下の町割や旧東海道の沿道に残る建築物など、静岡の歴史の積み重ねによって生まれ、今も残る人が心地良いと感じる街並みを継承します。
- 民間の活力を活かした建物のリノベーション等による建物更新を通じて、新旧建物が調和した人宿町人情通りならではの風景を作っていきます。

旧東海道



おまちの歴史の尊重と継承

- 人宿町人情通りは、民地も含めて、心地よさを与える緑化を推進し、心地のよい街路空間を目指します。
- 青葉通りや宝台院方面への眺望の抜けも意識した空間デザインを行い、周辺資源とのつながりを強化し、愛着を育む景観づくりを目指します。

- みどりのつながり
- みどりの拠点
- 眺望軸
- 景観上・眺望上重要な建造物



地域の誇りと愛着を育む緑環境・景観づくり

- 人宿町人情通りおよび人宿町通りは、周辺の道路と役割分担しつつ、通過交通の流入を抑制し、歩行者優先道路として再編します。

- 通過交通を分担する道路
- 歩行者専用道路
(時間規制を含む)
- 歩行者優先道路
- その他の道路



歩行者と車が共存するための道路の役割分担

- 歩行者優先の街路空間を目指す人宿町人情通りは、通りの中に一息ついて休むことができる滞留空間を充実させます。
- 道路内への利活用可能な空間の用意や、沿線からの活動のにじみ出しを促す設え等を通じて、通りでの多様な人の活動の創出を目指します。

- 公園以外のまとまった滞留空間
- 特に主要な歩行者動線
- 近隣公園



体験を育む滞留空間の適切な配置

5.まちづくりの方針

建物と通りのリノベーションによる 新たな文化の醸成や交流の促進

リノベーション等による建物更新と個性豊かな店舗の集積

- 民間主導のリノベーションによる先進的なまちづくりを後押しし、人宿町人情通りを基軸としながら、交差する道路の沿道にも個性豊かな店舗が面的に集積するエリアを形成していきます。
- エリアの歴史性を尊重しながらも、歩いて楽しい、愛着が湧く街並みの形成を促します。

歩行者や自転車が安全・快適に通行できる道路空間の形成

- 人宿町人情通りでは、無電柱化や通過車両・走行速度の抑制等を通じて、歩行者や自転車が安全に通行できる道路空間を形成します。
- 無電柱化を通じて、日常的な通りの良好な景観だけでなく、災害時の安全な避難・通行経路を確保します。

道路と民地の一体利用や周辺施設との連携による交流の場の創出

- 道路空間の再編を通じて、日常利用時やイベント時に利活用しやすい空間を実現します。
- 民間主体の持続的なエリアマネジメント^{*1}活動により、滞留空間を交流の場として積極的な活用を図ります。
- 低未利用地や民地内の公共的空間を活用した道路と民地の一体利用や、青葉通り、常磐公園等の周辺施設との連携等によって、人々の交流を創出します。

^{*1}エリアマネジメント

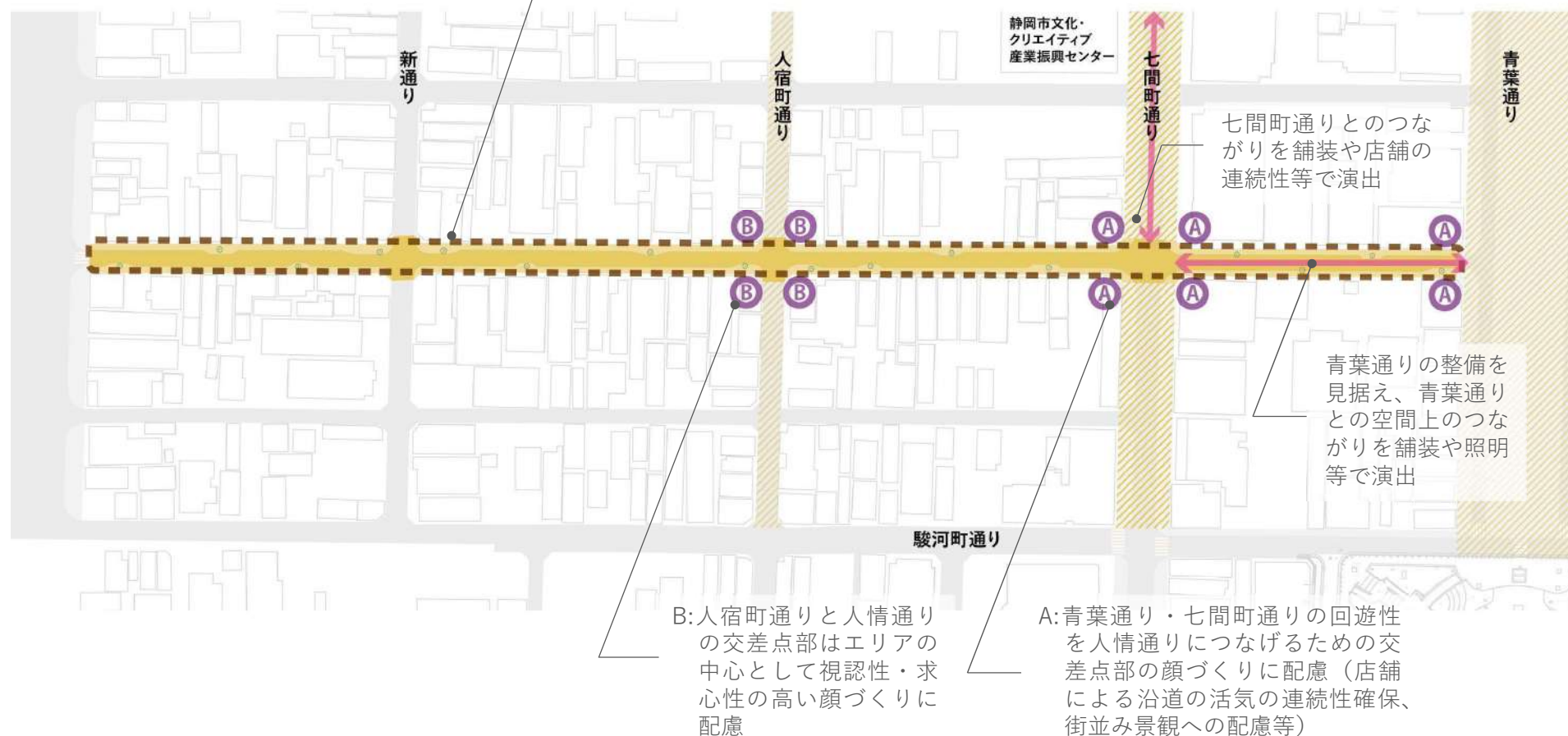
地域住民や事業者が主体となり、まちの価値を高めるために行う様々な活動（清掃、イベント開催、ルール作りなど）

6-1.空間づくりの方針

エリア共通の方針

- 青葉通りから本通りに至る人宿町人情通り沿線の歩行者優先道路化
- 暖かみのある夜間照明の整備、店舗内照明の夜間点灯
- 公共空間に接する民地部分の緑化等、地域と連携した沿道の緑化
- 荷捌き等に対応できる駐車場所の検討

無電柱化の推進を契機とした歩車共存空間の実現（車道幅員の縮小・蛇行した車道形状による車両の流入・速度抑制、歩車道の段差解消、滞留・活動空間の整備、舗装等の設え向上等）

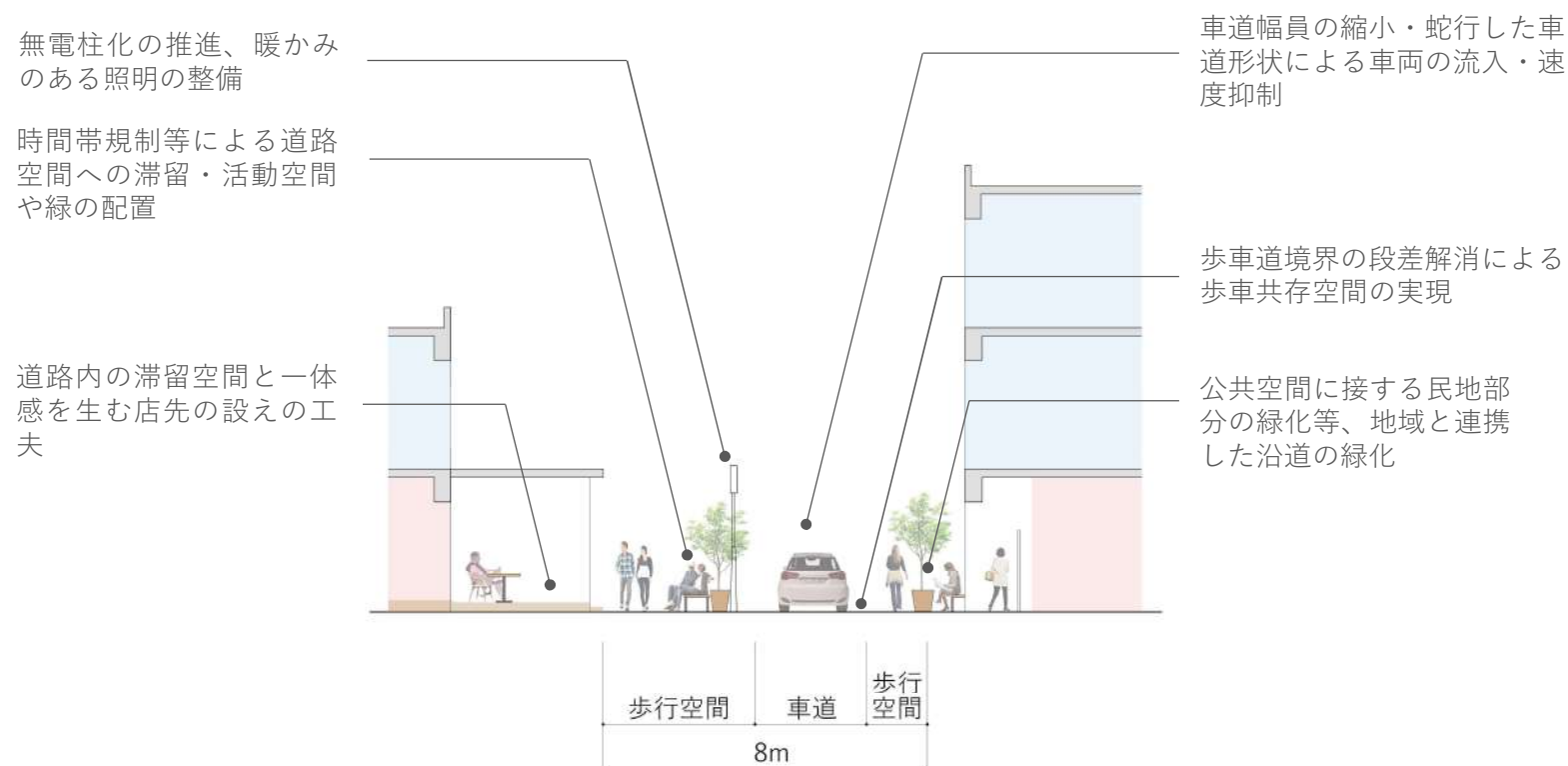


- 凡例
- 交差点部の顔づくりに配慮
 - 歩行者優先道路（エリア外）
 - 周辺とのつながりの強化



6-2.空間づくりの方針

- 現況の道路幅員内で、道路空間の再配分及び歩車道境界の段差を解消し、歩行者優先の通りを実現します。
- 時間帯規制等による道路内への滞留空間の設置、店先の設えの工夫、公共空間に接する民地部分の緑化等を通じて、通りにおける滞留や交流などの表出を目指します。



7.将来像

建物と通りのリノベーションによる
新たな文化の醸成や交流の促進

